

①松茂中学校3年 MR

私は今回の集会で2回目となる参加でしたが、昨年とは違うことを得られたと思います。今回の集会で、特に印象に残っているのは、みお先輩のヤングケアラーについての作文です。私はヤングケアラーについて、聞いたことはあるけれど、内容は詳しく知りませんでした。だから、クラスに1～2人いてもおかしくないという言葉に衝撃的でした。こんなにも身近で起こっている人権問題なのに、内容を詳しく知らなくて反省すると同時に、もっと人権問題について学習していこうと思いました。また、有井先輩の「無知なことが恥なのではなく、無知なことを知ろうとしないのが恥だ」という言葉も印象に残っています。まさにその通りだなと感じました。私はまだまだ人権問題について無知なことがあると思います。だから、無知なことをもっと知ろうとして、これからの人権学習に生かせるようにしたいです。また、私は今回人権作文を読みました。正直、不安でいっぱいな気持ちだったけれど、本番では堂々と読むことができたと思います。これは自分の意見を言うことや人前に出ることが苦手な私にとって、“挑戦”することができたので、この人権交流集会を通して少しは成長できたと感じています。私は、この集会から自分の意見を持って話すことの大切さ、語り合うことで人とつながれることを学びました。学んだことを生かして、他の人にも伝えていきたいです。そんな中学生交流集会が今年で最後になってしまうのが、残念な気持ちでいっぱいです。しかし最後のこの集会で、司会を2度務めたり、作文を読んだりすることができ、うれしく思います。これは私の成長にもつながることができたと感じています。またこのような場があれば、参加してみたいと思います。とても有意義な時間になりました。本当にありがとうございました。

②城南高校1年 OA

今回の中学生交流集会が最後ということを知った去年の秋頃、とても悲しかったのを覚えています。だからこそ、最後の講演会に私が登壇しても良いのか、かなり悩みました。しかし半ば強制ではありましたが、登壇して中学生に向けて話したいことを話せて、本当に良かったと思いました。その後、中高生による人権作文発表を聞き、様々な人権問題に触れ、考え、発表させていただきました。特に印象に残っているのは、有井さんの「また会おう」という言葉です。私が冒頭に書いた「悲しかった」というのは、もう二度と会えないかもしれないと思ったから生まれた感情ですが、いつかまた会えると信じてる別れの方が、会えるまでの期間が幸せで楽しいのだろうと思いました。中学生交流集会は私に勇気や自信、友達を与えてくれました。今までありがとうございました!!

③徳島商業高校2年 NM

私は3回目の本大会参加となりました。3回目にして最初で最後の壇上に上がってしゃべり作文も読みました。ここ最近、マイクを持って話すとき、上手く話せず、まとまらず、結局何が言いたかったのか分からなくなってしまうことが多く、今回もすごく迷いました。アツトと明日香の話を横で聞きながらメモを見返しつつ、緊張をほぐしていましたが、落ち着くわけもなく番が来て、頭が真っ白になりました。私が最後に伝えたかったこと、それは、「この場所がなくなっても、たくさんのことに興味をもって知り続けてほしい」ということだったのかなと数日たって思います。自分が思うに、経験や体験は自分の1番強い武器になるのです。「無知は恥」知ろうとしないこと、無関心のままで居続けることが恥ずかしいことだと、たくさんの中高生の意見で改めて思いました。今回初めて打ち明けたことがありました。すごく勇気が必要だったし、前日まですごく不安でした。(最後に読むということも含めてですが…)タイムリーにニュース等で取り上げられるけど、知らない、名前しか聞いたことがない、そんな子たちはあの場にも存在して、学校でも取り上げられていないのだろうなとすごく思いました。この会でいるのなら、学校現場にどれほど知らない人がいるのか…。けれど意見発表でたくさんの中高生がおじいちゃん、おばあちゃんについて語ってくれました。少しでもみんなの心に響いてくれたのならうれしい限りです。

この集会のフィナーレに少しでも携われたこと、最初で最後の作文・講演ができたこと、3回もこの集会の本大会に参加できたこと、ここで出会えた仲間がいること、全て“出会い”があったからだと思います。森口先生がよくおっしゃいます。「人権学習は出会い」私も本当にそう思います。ある友人がいなければ、3回も参加できてないですし、ここで仲間をつくることなどなかったことです。出会いで人生も人間性も変わります。夢も…。私はこれからも“人と人との出会い”を大切に、人生を歩んでいきたいです。本大会関わってくださった全てのみなさんと出会えて感謝です。おつかれさまでした。